

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年
令和2年2月4日 第13号

～先日の総合学科発表会について～

2/1(土)に県立伊丹北高等学校にて総合学科発表会があり、本校から2年生が19名参加しました。総合学科発表会を通じて、「高校生ってこんなにすごいんだ」ということを実感できた人が多かったようです。今回の県立伊丹北の総合学科発表会から報告書を書いてもらっていますので、後でその一部を紹介します。やはり、何事も直接見たり聞いたりしないとわからないことがたくさんあります。積極的にオープンスクールや学校説明会などに参加することで、高校に対する具体的なビジョンと「受験生としての自覚」や「高校に対する意欲」をもつことにつながるはずです。受験に向けての動きはもう始まっています。あなたは何を意識し、どんな行動をしていますか。

～総合学科発表会に参加しての報告書より～ ※一部修正しております。

「今の自分では無理だと思いました。今後は自分に身につくような勉強をしないとダメだと思いました。北高に行ってみての感想は、(先輩方の)姿がよかったなと思いました。日ごろから細かいところに気をつけているのだなと思い、自分も細かいところから気を付けようと思いました。」

「発表する時、みんなハキハキとしゃべっていて、語彙力も高くてすごいなと思った。○○さんの発表がすごく印象に残った。(個人情報のため伏せさせていただきます)パワーポイントがすごく見やすく、話し方も上手くて、すごく耳に入ってきた。ディベートでは、レベルが高すぎて正直、ついていけなかった。」

「亀の子マップの使い方の説明やディベートの実演が印象に残った。亀の子マップは、その枠の中にキーワードを入れ、そこから考えを広げていくというやり方で、今度使ってみようと思った。ディベートは一つのテーマに対して、賛成・反対の二つのグループに分かれ、討論するというもので、証拠に基づいて自分の考えを話せるって凄いなと思い、楽しそうとも思った。」

「中学校とは学習の雰囲気全然違って、総合学科のためそれぞれに合った時間割

で自分の力をより伸ばせる良い学校だと思った。私が一番印象に残ったのはディベートで、立論や反駁などたくさんの流れがあり、自分の意見を言うだけでなく、相手の気持ちになって考えることも必要で難しそうだけど、中学校でもしてみたいと思った。」

～オープンスクールなどの参加について～

本日より、各教室に「学校説明会・オープンスクール参加報告書」を用意しております。高校の学校説明会・オープンスクール・発表会などに参加した場合は必ず作成して、担任の先生に提出しましょう。報告書は何のために作成するのか。一つは「自分の進路について考えるため」です。残念ながら、人は忘れる生き物です。そのため、「いつ行ったのか、どんな様子であったのか、どんな感想を自分が持ったのか」などを記録しておく必要があります。記録しておかなければ、進路について考える時に「どうだったっけ？」となってしまい、何回も1から考え直す必要があります。しかし、記録があれば、考える時に簡単にふり返りができるので、進路を考えるにはとても重要な資料になります。だから「報告書」を作成してもらいます。また、面接がある学校では、実際にオープンスクールなどに参加したかどうか、日付や感想などを聞かれることがあります。しっかりと報告書を書いて、自分の進路を考える資料としましょう。

～質問に対する答え～ ※12号の続きになっております。ご了承ください。～

Q8. 普段のテストと通知表の内申点でどんな高校に行けるのか

A8. 進路のスタートは「今の成績で行ける高校」を探すことではなく、「自分が行きたい高校」を探すことです。その年その年で各学校の入試状況などは変わります。近年、ある年は定員を割っているが、ある年はかなりの人数を超えている学校があります。コースが新しくなった高校もあります。女子校だったのが共学になった高校もあります。時代とともに、常に学校の入試状況も変化しています。だから、安易にこの成績ならこの高校という判断できるものは、今はありません。だからこそ、大切なのは、「自分が行きたい高校」に入れる可能性をできるだけ高めることです。もしくは行きたい高校が見つかったときに、入れる可能性を高めることです。そのためにも今自分の中でできるだけ努力し、今よりも良い成績をとることを意識しておきましょう。成績は「貯金」と同じです。成績が良くなって困ることはありません。ギリギリを求めるのではなく、入学後、その先を考えてもより良くより良く成績を伸ばしていきましょう。